

監査報告書

令和3年5月12日

社会福祉法人太田福祉記念会
理事長 太田 宏 様

社会福祉法人太田福祉記念会

監事

柳 沼 亮 爾

監事

佐藤 君子

令和3年5月12日、玉川ホームにおいて、令和2年度における理事職務執行内容について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度の計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ コロナ禍にあって、感染防護物品の備蓄や職員の行動指針の策定、ゾーニング訓練の実施など、感染予防の取り組みを継続しながら、IT導入などの効率化にも取り組むなど介護サービスの質の向上に努めており、適正に運営が行われているものと認めます。更に、利用者が望む介護サービスを提供するため、人材育成のための職員研修事業を継続することを望みます。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ① 必要書類は、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況等全ての重要な点を適正に表示しているものと認めます。
- ② 財務運営について、コロナ禍にあって、収入は補助金の導入や特養の稼働率向上による収入の増加を図り、支出は入札の多用等多方面からの節減を行い、将来の財源確保のため、新たに積立金を積み立てるなど、全体的に良好な財務状況にあると認められるので、維持継続を望みます。